

渡邊格司 ワタナベカクジ ドイツ文學者、文學博士。明治二十五年六月二日東京生れ（一九〇一）。大正十五年東京帝國大學文學部獨文科卒。大阪高等學校、大阪大學各教授歷任。

著譯書『獨逸語速読法』（昭和九年一月十日大學書林）、ヘルデルリ

ン作『ロヒエペーリオン』（譯、昭和十一年十一月二十日岩波書店

『岩波文庫』）、フリッツ・ロイテル作『フラン大時代より』（譯、

昭和十四年八月二十日白水社）、ヴェル・ヴェスマー著『ヘルデルリ

ン』の生涯（書籍集を通じて）』（譯、昭和十五年一月二十五日弘文

堂書房『世界文庫』）、ノブーリス著『斷章』（二冊）（小牧健夫共譯、

上・昭和十六年一月一日、中・十七年二月二十日岩波書店『岩波文

庫』）、シルス著『二十年戰史』全二冊（譯、第一部、昭和十八年

十一月二十日、第二部、十九年五月二十日岩波書店『岩波文庫』）、

『獨逸語原論』（昭和十八年十一月二十日大學書林）、ゲーテ著

『キルヘルム・マイスター』の演劇的使命』（譯、昭和二十二年十一月

二十日大阪・大丸出版印刷株式會社）、『ゲーテ・羅馬悲歌』（昭和

二十四年六月二十日大日本雄辯會講談社）、マックス・ブロート編

『カフカ全集』II 審判・ヤメリカ（原田義人
石中翁治共譯、昭和二十八年

四月二十日新潮社）、『十九世紀の

歐洲比較文學』（昭和二十八年十一

月二十日第二書房）等。

